

2021年3月1日から2023年12月31日までの間に関西医科大学バイオバ

ンクセンターに試料の提供をされました方へ（基礎研究に関する情報）

関西医科大学医学部薬理学講座では、以下の基礎研究を実施しております。この研究は、関西医大バイオバンクセンター（以後、バイオバンクと記します）に保存されている試料および医療情報を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 新規な硫酸化糖鎖抗体を用いた卵巣がんの検査法の開発

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学医学部薬理学講座 准教授 赤間 智也

《研究の目的》

卵巣がんは自覚症状が少なく、病期 III 以降では 5 年相対生存率は 40%以下となり、早期発見が重要ですが、現在のところ簡便で正確な診断方法がありません。卵巣がん患者さんの癌の再発などを調べるために血中の CA125 と呼ばれる腫瘍マーカーを調べることがありますが、早期発見の目的にはこの方法は不十分であり使用されていません。我々は血液中の成分を検査することにより卵巣がんを早期に発見する方法を研究しております。血液検査で小さな卵巣がんを発見することができれば、がんが小さなうちに手術や化学療法などで治療することが可能となり、多くの患者さんを救うことができるものと考えております。

《研究期間》 倫理審査委員会承認後～2024年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2021年3月1日から2023年12月31日までの間にバイオバンクにおいて血液試料を保存しました女性（卵巣がんと診断された方、および卵巣がんではなく別の病気と診断された方）を対象とします。

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別

試料：血液

●研究方法

該当期間中に研究対象とされました方の血清または血漿をバイオバンクから入手し、その中に含まれるタンパク質の種類、濃度、構造などを生化学的な方法（SDS-PAGE、免疫ブロット法、ELISA アッセイなど）にて分析し、卵巣がん患者さんの血液中にのみ検出される違いを見つけることにより卵巣がん患者の早期発見に利用可能なマーカー分子の探索を行います。遺伝子の解析は行いません。

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さ

んの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

バイオバンクにて保存します試料や医療情報は個人情報（氏名・生年月日等）を削除し、代わりに付けられる全くランダムな番号で管理されております（これを匿名化と言います）。この研究で使用します試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

* 上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学医学部薬理学講座
准教授
赤間智也
〒573-1010 枚方市新町 2-5-1
電話 072-804-0101（代表）